

(様式)

令和5年度 「総合的な探究の時間」 指導計画書

学校番号	60	学校名	赤穂	高等学校	名称	身近な課題に対して探究する			
課程		定時		制					
学年	1	学科	普通科		生徒数	5	人	単位数	1 単位
		コース						時間数	39 時間
目標 (育成する資質・能力)	(1) 自分の新たな可能性を見つけ、引き出し、伸ばすことができる。【知識・技能・自己肯定感】 (2) 探究活動、ものづくりを通じて人間性の幅を広げることができる。【思考力・判断力・表現力】 (3) 一年間の挑戦から学んだことを生かして、自分の将来をデザインすることができる。【主体性・協調性・多様性】								
内容 (探究する課題について明確にすること)	(1) 主体性・協働性・・・選択したテーマに基づき、自分の探究課題を設定し、探究方法を考える。 (2) 知識・技能・・・探究計画を立案し、実践、ものづくり、体験を通して探究を深める。 (3) 表現力・・・1年間を通じて挑戦したこと、学んだこと、探した宝物を全校の前で発表する。 (4) 時間割で水曜日の4時間目に設定し、週1時間(年間39時間)実施する。 (5) 学年の枠を超え、全校生徒の選択講座を設け、興味関心に基づき講座を選択する。 (6) 各講座で課題を設定し、1年間かけて探究活動を行い、学習のまとめとして発表する。								
学期	時間	月	日	曜日	時限 時間帯	内 容		指導方法	備 考 (教材、場所等)
						単元	各回の学習内容		
1	1	4	12	水	4時限目	STEP1 課題設定	説明・ガイダンス	全体指導(説明)	教室 会議室
	2	4	19	水	4時限目		説明・ガイダンス	全体指導(ガイダンス)	
	3	4	26	水	4時限目		探究とは	全体指導(講義)	
	4	5	10	水	4時限目		ミニ探究	ワークショップ	個別指導
	5	5	17	水	4時限目		課題探し		
	6	5	24	水	4時限目		課題探し、探究方法		
	7	5	31	水	4時限目		課題探し、探究方法、探究計画		
	8	6	7	水	4時限目	STEP2 体験 実践 作品制作	4つの選択講座を開講し、それぞれの分野で探究活動を行う。 ①講座名 「パソコン活用の探究」 ICTの活用術を探究することで、仕事で使える文書作成やデータ処理方法を身に付けることを目指す。 ②講座名 「スポーツの探究」 スポーツを通して仲間とのコミュニケーションを図る。また、普段の授業より高いレベルの実施を目指す。 ③講座名 「手工作の探究」 身近な素材を用いて、塗り絵や工作などを楽しみながら探究し、成果を校内で発表する。 ④講座名 「小説の読み込み探究」 小説を読み、気づいたこと感じたことを言葉にしてディスカッションを行い、発表する。	グループワーク 個別指導	講座毎の場所 講座毎に教材を 準備
	9	6	14	水	4時限目				
	10	6	21	水	4時限目				
	11	6	28	水	4時限目				
12	7	5	水	4時限目					
13	7	12	水	4時限目					
14	7	19	水	4時限目					
15	8	23	水	5時限目					
16	校内・クラス生活体験発表会								
17	校内・クラス生活体験発表会								
18	9	6	水	4時限目					
19	9	13	水	4時限目					
20	9	20	水	4時限目					
21	9	27	水	4時限目					
22	10	4	水	4時限目					
23	10	11	水	4時限目					
24	10	18	水	4時限目					
25	10	25	水	4時限目					
26	11	1	水	4時限目					
27	11	8	水	4時限目					
28	11	15	水	4時限目					
29	11	29	水	4時限目					
3	30	12	6	水	4時限目	STEP3 まとめ 発表	探究活動のまとめ	個別指導	
	31	12	13	水	4時限目		探究活動のまとめ		
	32	12	20	水	4時限目		発表準備		
	33	1	10	水	4時限目		発表準備		
	34	1	17	水	4時限目		発表準備		
	35	1	24	水	4時限目		講座内発表		
	36	2	7	水	4時限目		校内発表会の準備	個別及び全体指導	
	37	2	14	水	4時限目		校内発表会(全校)・卒業式予行		
	38	2	22	水	4時限目				
39	3	1	水	4時限目				校内会場	
評価の観点・方法	(評価の観点) 1 自分に合った課題を設定し、主体的に探究活動を行えたか。 2 講座内の仲間と協働して、課題解決(自己実現)を図れたか。 3 課題について調査、研究、分析、体験、実践、ものづくりの中から知識・技能を習得できたか。 4 挑戦から得たもの、学んだものを成果として発表できたか。 (評価の方法) 1 プレゼンテーションや実技発表などによる評価 2 報告書・レポートなどの制作物とそれらを集積したポートフォリオによる評価 3 学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価								

(様式)

令和5年度 「総合的な探究の時間」 指導計画書

学校番号	60	学校名	赤穂	高等学校	名称	身近な課題に対して探究する			
課程		定時		制					
学年	2	学科	普通科		生徒数	13	人	単位数	1 単位
		コース						時間数	39 時間
目 標 (育成する資質・能力)	(1) 自分の新たな可能性を見つけ、引き出し、伸ばすことができる。【知識・技能・自己肯定感】 (2) 探究活動、ものづくりを通じて人間性の幅を広げることができる。【思考力・判断力・表現力】 (3) 一年間の挑戦から学んだことを生かして、自分の将来をデザインすることができる。【主体性・協調性・多様性】								
内 容 (探究する課題について明確にすること)	(1) 主体性・協働性・・・選択したテーマに基づき、自分の探究課題を設定し、探究方法を考える。 (2) 知識・技能・・・探究計画を立案し、実践、ものづくり、体験を通して探究を深める。 (3) 表現力・・・1年間を通じて挑戦したこと、学んだこと、探した宝物を全校の前で発表する。 (4) 時間割で水曜日の4時間目に設定し、週1時間(年間39時間)実施する。 (5) 学年の枠を超え、全校生徒の選択講座を設け、興味関心に基づき講座を選択する。 (6) 各講座で課題を設定し、1年間かけて探究活動を行い、学習のまとめとして発表する。								
学期	時間	月	日	曜日	時 限 時間帯	内 容		指導方法	備 考 (教材、場所等)
						単元	各回の学習内容		
1	1	4	12	水	4時限目	STEP1 課題設定	説明・ガイダンス	全体指導(説明)	教室 会議室
	2	4	19	水	4時限目		説明・ガイダンス	全体指導(ガイダンス)	
	3	4	26	水	4時限目		探究とは	全体指導(講義)	
	4	5	10	水	4時限目		ミニ探究	ワークショップ	個別指導
	5	5	17	水	4時限目		課題探し		
	6	5	24	水	4時限目		課題探し、探究方法		
	7	5	31	水	4時限目		課題探し、探究方法、探究計画		
	8	6	7	水	4時限目	STEP2 体験 実践 作品制作	4つの選択講座を開講し、それぞれの分野で探究活動を行う。 ①講座名 「パソコン活用の探究」 ICTの活用術を探究することで、仕事で使える文書作成やデータ処理方法を身に付けることを目指す。 ②講座名 「スポーツの探究」 スポーツを通して仲間とのコミュニケーションを図る。また、普段の授業より高いレベルの実施を目指す。 ③講座名 「手工工作の探究」 身近な素材を用いて、塗り絵や工作などを楽しみながら探究し、成果を校内で発表する。 ④講座名 「小説の読み込み探究」 小説を読み、気づいたこと感じたことを言葉にしてディスカッションを行い、発表する。	グループワーク 個別指導	講座毎の場所 講座毎に教材を 準備
	9	6	14	水	4時限目				
	10	6	21	水	4時限目				
	11	6	28	水	4時限目				
12	7	5	水	4時限目					
13	7	12	水	4時限目					
14	7	19	水	4時限目					
15	8	23	水	5時限目					
16	校内・クラス生活体験発表会								
17	校内・クラス生活体験発表会								
18	9	6	水	4時限目					
19	9	13	水	4時限目					
20	9	20	水	4時限目					
21	9	27	水	4時限目					
22	10	4	水	4時限目					
23	10	11	水	4時限目					
24	10	18	水	4時限目					
25	10	25	水	4時限目					
26	11	1	水	4時限目					
27	11	8	水	4時限目					
28	11	15	水	4時限目					
29	11	29	水	4時限目					
3	30	12	6	水	4時限目	STEP3 まとめ 発表	探究活動のまとめ	個別指導	
	31	12	13	水	4時限目		探究活動のまとめ		
	32	12	20	水	4時限目		発表準備		
	33	1	10	水	4時限目		発表準備		
	34	1	17	水	4時限目		発表準備		
	35	1	24	水	4時限目		発表準備		
	36	2	7	水	4時限目		講座内発表		
	37	2	14	水	4時限目		校内発表会の準備	個別及び全体指導	
	38	2	22	水	4時限目		校内発表会(全校)・卒業式予行		
39	3	1	水	4時限目					
評価の観点・方法	(評価の観点) 1 自分に合った課題を設定し、主体的に探究活動を行えたか。 2 講座内の仲間と協働して、課題解決(自己実現)を図れたか。 3 課題について調査、研究、分析、体験、実践、ものづくりの中から知識・技能を習得できたか。 4 挑戦から得たもの、学んだものを成果として発表できたか。 (評価の方法) 1 プレゼンテーションや実技発表などによる評価 2 報告書・レポートなどの制作物とそれらを集積したポートフォリオによる評価 3 学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価								

(様式)

令和5年度 「総合的な探究の時間」 指導計画書

学校番号	60	学校名	赤穂	高等学校	名称	身近な課題に対して探究する			
課程		定時		制					
学年	3	学科	普通科		生徒数	4	人	単位数	1 単位
		コース						時間数	39 時間
目 標 (育成する資質・能力)	(1) 自分の新たな可能性を見つけ、引き出し、伸ばすことができる。【知識・技能・自己肯定感】 (2) 探究活動、ものづくりを通じて人間性の幅を広げることができる。【思考力・判断力・表現力】 (3) 一年間の挑戦から学んだことを生かして、自分の将来をデザインすることができる。【主体性・協調性・多様性】								
内 容 (探究する課題について明確にすること)	(1) 主体性・協働性・・・選択したテーマに基づき、自分の探究課題を設定し、探究方法を考える。 (2) 知識・技能・・・探究計画を立案し、実践、ものづくり、体験を通して探究を深める。 (3) 表現力・・・1年間を通じて挑戦したこと、学んだこと、探した宝物を全校の前で発表する。 (4) 時間割で水曜日の4時間目に設定し、週1時間(年間39時間)実施する。 (5) 学年の枠を超え、全校生徒の選択講座を設け、興味関心に基づき講座を選択する。 (6) 各講座で課題を設定し、1年間かけて探究活動を行い、学習のまとめとして発表する。								
学期	時間	月	日	曜日	時 限 時間帯	内 容		指導方法	備 考 (教材、場所等)
						単元	各回の学習内容		
1	1	4	12	水	4時限目	STEP1 課題設定	説明・ガイダンス	全体指導(説明)	教室 会議室
	2	4	19	水	4時限目		説明・ガイダンス	全体指導(ガイダンス)	
	3	4	26	水	4時限目		探究とは	全体指導(講義)	
	4	5	10	水	4時限目		ミニ探究	ワークショップ	個別指導
	5	5	17	水	4時限目		課題探し		
	6	5	24	水	4時限目		課題探し、探究方法		
	7	5	31	水	4時限目		課題探し、探究方法、探究計画		
	8	6	7	水	4時限目	STEP2 体験 実践 作品制作	4つの選択講座を開講し、それぞれの分野で探究活動を行う。 ①講座名 「パソコン活用の探究」 ICTの活用術を探究することで、仕事で使える文書作成やデータ処理方法を身に付けることを目指す。 ②講座名 「スポーツの探究」 スポーツを通して仲間とのコミュニケーションを図る。また、普段の授業より高いレベルの実施を目指す。 ③講座名 「手工作の探究」 身近な素材を用いて、塗り絵や工作などを楽しみながら探究し、成果を校内で発表する。 ④講座名 「小説の読み込み探究」 小説を読み、気づいたこと感じたことを言葉にしてディスカッションを行い、発表する。	グループワーク 個別指導	講座毎の場所 講座毎に教材を 準備
	9	6	14	水	4時限目				
	10	6	21	水	4時限目				
	11	6	28	水	4時限目				
12	7	5	水	4時限目					
13	7	12	水	4時限目					
14	7	19	水	4時限目					
15	8	23	水	5時限目					
16	校内・クラス生活体験発表会								
17	校内・クラス生活体験発表会								
18	9	6	水	4時限目					
19	9	13	水	4時限目					
20	9	20	水	4時限目					
21	9	27	水	4時限目					
22	10	4	水	4時限目					
23	10	11	水	4時限目					
24	10	18	水	4時限目					
25	10	25	水	4時限目					
26	11	1	水	4時限目					
27	11	8	水	4時限目					
28	11	15	水	4時限目					
29	11	29	水	4時限目					
3	30	12	6	水	4時限目	STEP3 まとめ 発表	探究活動のまとめ	個別指導	
	31	12	13	水	4時限目		探究活動のまとめ		
	32	12	20	水	4時限目		発表準備		
	33	1	10	水	4時限目		発表準備		
	34	1	17	水	4時限目		発表準備		
	35	1	24	水	4時限目		発表準備		
	36	2	7	水	4時限目		講座内発表		
	37	2	14	水	4時限目		校内発表会の準備	個別及び全体指導	
	38	2	22	水	4時限目		校内発表会(全校)・卒業式予行		
39	3	1	水	4時限目					
評価の観点・方法	(評価の観点) 1 自分に合った課題を設定し、主体的に探究活動を行えたか。 2 講座内の仲間と協働して、課題解決(自己実現)を図れたか。 3 課題について調査、研究、分析、体験、実践、ものづくりの中から知識・技能を習得できたか。 4 挑戦から得たもの、学んだものを成果として発表できたか。 (評価の方法) 1 プレゼンテーションや実技発表などによる評価 2 報告書・レポートなどの制作物とそれらを集積したポートフォリオによる評価 3 学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価								

(様式)

令和5年度 「総合的な探究の時間」 指導計画書

学校番号	60	学校名	赤穂	高等学校	名称	身近な課題に対して探究する				
課程		定時		制						
学年	4	学科	普通科		生徒数	8	人	単位数	1 単位	
		コース						時間数	39 時間	
目標 (育成する資質・能力)	(1) 自分の新たな可能性を見つけ、引き出し、伸ばすことができる。【知識・技能・自己肯定感】 (2) 探究活動、ものづくりを通じて人間性の幅を広げることができる。【思考力・判断力・表現力】 (3) 一年間の挑戦から学んだことを生かして、自分の将来をデザインすることができる。【主体性・協調性・多様性】									
内容 (探究する課題について明確にすること)	(1) 主体性・協働性・・・選択したテーマに基づき、自分の探究課題を設定し、探究方法を考える。 (2) 知識・技能・・・探究計画を立案し、実践、ものづくり、体験を通して探究を深める。 (3) 表現力・・・1年間を通じて挑戦したこと、学んだこと、探した宝物を全校の前で発表する。 (4) 時間割で水曜日の4時間目に設定し、週1時間(年間39時間)実施する。 (5) 学年の枠を超え、全校生徒の選択講座を設け、興味関心に基づき講座を選択する。 (6) 各講座で課題を設定し、1年間かけて探究活動を行い、学習のまとめとして発表する。									
学期	時間	月	日	曜日	時限 時間帯	内 容		指導方法	備 考 (教材、場所等)	
						単元	各回の学習内容			
1	1	4	12	水	4時限目	STEP1 課題設定	説明・ガイダンス	全体指導(説明)	教室 会議室	
	2	4	19	水	4時限目		説明・ガイダンス	全体指導(ガイダンス)		
	3	4	26	水	4時限目		探究とは	全体指導(講義)		
	4	5	10	水	4時限目		ミニ探究	ワークショップ	個別指導	
	5	5	17	水	4時限目		課題探し			
	6	5	24	水	4時限目		課題探し、探究方法			
	7	5	31	水	4時限目		課題探し、探究方法、探究計画			
	8	6	7	水	4時限目	STEP2 体験 実践 作品制作	4つの選択講座を開講し、それぞれの分野で探究活動を行う。 ①講座名 「パソコン活用の探究」 ICTの活用術を探究することで、仕事で使える文書作成やデータ処理方法を身に付けることを目指す。 ②講座名 「スポーツの探究」 スポーツを通して仲間とのコミュニケーションを図る。また、普段の授業より高いレベルの実施を目指す。 ③講座名 「手工作の探究」 身近な素材を用いて、塗り絵や工作などを楽しみながら探究し、成果を校内で発表する。 ④講座名 「小説の読み込み探究」 小説を読み、気づいたこと感じたことを言葉にしてディスカッションを行い、発表する。	グループワーク 個別指導	講座毎の場所 講座毎に教材を 準備	
	9	6	14	水	4時限目					
	10	6	21	水	4時限目					
	11	6	28	水	4時限目					
12	7	5	水	4時限目						
13	7	12	水	4時限目						
14	7	19	水	4時限目						
15	8	23	水	5時限目						
16	校内・クラス生活体験発表会									
17	校内・クラス生活体験発表会									
18	9	6	水	4時限目						
19	9	13	水	4時限目						
20	9	20	水	4時限目						
21	9	27	水	4時限目						
22	10	4	水	4時限目						
23	10	11	水	4時限目						
24	10	18	水	4時限目						
25	10	25	水	4時限目						
26	11	1	水	4時限目						
27	11	8	水	4時限目						
28	11	15	水	4時限目						
29	11	29	水	4時限目						
3	30	12	6	水	4時限目	STEP3 まとめ 発表	探究活動のまとめ	個別指導		
	31	12	13	水	4時限目		探究活動のまとめ			
	32	12	20	水	4時限目		発表準備			
	33	1	10	水	4時限目		発表準備			
	34	1	17	水	4時限目		発表準備			
	35	1	24	水	4時限目		講座内発表			
	36	2	7	水	4時限目		校内発表会の準備	個別及び全体指導		
	37	2	14	水	4時限目		校内発表会(全校)・卒業式予行			
	38	2	22	水	4時限目					
39	3	1	水	4時限目				校内会場		
評価の観点・方法	(評価の観点) 1 自分に合った課題を設定し、主体的に探究活動を行えたか。 2 講座内の仲間と協働して、課題解決(自己実現)を図れたか。 3 課題について調査、研究、分析、体験、実践、ものづくりの中から知識・技能を習得できたか。 4 挑戦から得たもの、学んだものを成果として発表できたか。 (評価の方法) 1 プレゼンテーションや実技発表などによる評価 2 報告書・レポートなどの制作物とそれらを集積したポートフォリオによる評価 3 学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価									